

「ネット将棋」(中2)の授業について

1 はじめに

表題の授業をするということで相談を受けました。「道徳の読み物資料では主人公の心情を読み取るのではなく、資料から道徳的価値について考える。」ということをもとに授業展開を考えました。1時間の授業で出す発問は次の通りとしました。

<読み物資料>

内容の理解を深める補助発問を2～3つ

資料から道徳的価値について考える発問を1つ

<生活の振り返り>

読み物資料を踏まえて生活の振り返りから道徳的価値を考える発問を1つ

生活の振り返りから道徳的価値を考えることは難しい場合は、自分に引き寄せて考える発問を1つ

2 授業展開

- (1) 教材名 ネット将棋 / (2) 主題名 責任ある言動
(3) 内容項目 A-(1) 自主、自立、自由と責任
(4) ねらい 誠実に行動することの大切さを理解し、自主的に行動して、その結果に責任をもととする態度を育てる。

(1)～(4)は指導書より

(5) 授業展開

<導入>

質問 将棋はどのように勝負が決まるか知っていますか。

→ 王将を取ったら勝ち、取られたら負けです。しかし、一般には王将が取られるまで進められるわけではありません。王将が取られる前に、形勢不利な差し手が負けを認めて「参りました」または「負けました」と宣言して終了となります。将棋を指すうえでもっともつらく悔しい瞬間とも言えます。

<資料からの発問>

発問1 「僕」がネット将棋からいきなりログアウトしたのは、なぜだと思いますか。

※ p81 ㉒11～㉒12 「これ以上やっても無駄だと感じ、黙ってログアウトした。」

※ p81 ㉒19 「どっちにしても、いきなりログアウトしてやる。」

→ ペアで交流する。全体で交流する。

→ p81 ㉒13～㉒14 どうせ顔が見えるわけでも、本名を名乗っているわけでもないし。… みんなこんなものだろう。

発問2 p83 ㉒1 「目に見えない相手とどう向き合うかで、自分が試されている」と敏和が言っています。

敏和は、自分の何を試されていると思っているのでしょうか。

→ ペアで交流する。全体で交流する。

→ 自分の誠実さを試されている。

→ 目に見えない相手にどのように対応しているかで、他の人に対してどれくらい誠実に対応しているかが試されていると思っている。

発問3 p83 ㉒14 敏和のツッコミに笑えなかった「僕」はどんなことを考えていたと思いますか。

→ 班で解決する。各自が道徳ノートの「考えてみよう」に自分の言葉で書く。

→ 全体で交流する。

- 自分のこれまでの行動を振り返っている。
将棋で敏和に負けそうになったとき、時間切れにして、負けを認めなかったこと。
ネット将棋でいきなりログアウトしたこと。

※発問4は生徒の実態の応じて使い分ける。

<生活の振り返りから考える発問>

発問4 読み物と同じようなことがなかったかを振り返り、その時の思いと、今そのことについてどう考えているかを道徳ノート“自分に+1”に書きましょう。

- ①読み物と同じようなことはなかったか思い出そう。(エピソード)
いつ、どこで、どんなことがあったかを書きます。
- ②そのとき、何を思ったか、感じたかを書きます。
- ③今、振り返ってみて、そのことについてどう思うかを書きます。

- 友だちと競い合っていて負けそうになったときに、不誠実なことをしたことはなかったか。
- 何か失敗をしたとき、自分や周りをごまかすために、不誠実なことをしたことはなかったか。

- クラスメイトに知られたくない内容であるかもしれないことから、全体や班での交流では、発表できる人だけとする。

<自分に引き寄せて考える発問>

発問4 SNSやネット配信などインターネット上で自分が書き込みや表現をするときに、大切なことは何だと思えますか。

- 班で交流してから、道徳ノート“自分に+1”に書く。
- 全体で交流する。

3 おわりに

「本当に全員が取り組んでいるか」というのが最近の私のテーマです。自分の考えを書くとき、課題(発問)の内容は理解できているが、何を書いているのかよく分からないという生徒がときどきいます。これを解決するために、班で交流してから書いたり、班で解決してから自分の言葉で書いたりしてはどうかと考えています。

ぜひ、実践していただき、成果と課題を共有したいものです。